

1996年3月13日

エイバック株式会社
社長様

イッキ飲み防止連絡協議会
東大阪市宝持4-2-16



日本アルコール問題連絡協議会
中央区日本橋浜町3-19-3 ヲグ/21ビル



アルコール問題全国市民協会
アディクション問題を考える会
日本キリスト教婦人矯風会
日本アルコール医学会
日本アルコール関連問題ワーカー協会
飲酒運転に反対する市民の会
イッキ飲み防止連絡協議会
全日本断酒連盟
救世軍日本本営
国際グッドテンブラーズ
日本禁酒禁煙協会
日本禁酒同盟
アンスワール相互保険会社

主婦連合会
千代田区六番町15

はみ出し自販機対策協議会
千代田区四番町8 東郷パークビル
青葉総合法律事務所内



スポンサー番組中のイッキ飲みシーンに関する申し入れ および公開質問状

イッキ飲みは死を招く飲み方であり、またアルコールを受付けない体質の人に対し、お酒を無理強いすることは大変危険であることは充分ご承知のことと存じます。昨年4月に三井物産社員寮の歓迎会で新人が死亡、同志社大学テニスサークルの新人歓迎合宿でも死者が出ており、6月25日には専修大学の1年生が同好会の旅行サークルの歓迎旅行で死亡しています。

特に4月～5月は、新入生・新人歓迎会シーズンであり、イッキ飲みによる事故が最も多いため、大学生を主な対象にした「イッキ飲み防止ポスター・キャンペーン」を3年連続実施し、今年も3月末に実施する予定です。

また、このキャンペーンに加え、私たちは全国の会員に呼び掛けテレビでのイッキ飲み放送を監視してきました。残念ながら、未だテレビではイッキ飲みやお酒が飲めない人に対して無理やり飲ませるシーンが放映されています。特に、年末年始にかけた特別番組の中で多く見られ、その中で次の番組は貴社が提供されていたものでした。

1996.1.13. フジテレビ「エンタメゆうえんち 東京移住計画」

若者4人が東京でアパートを借りて入居祝いのパーティを開く。ウィスキーのグラス2～3杯をそれぞれ横において、イッキ飲み合戦をする。

この番組については、番組制作担当者に口頭で、また、フジテレビ局には文書で抗議を申し入れましたが一向に変わる気配が見られず、スポンサーである貴社にご協力をお願いするものです。申すまでもありませんが、テレビの影響力は極めて強く、こういったイッキ飲みやお酒の無理強いが青少年に与える影響に大変危惧を感じています。

つきましては、次のことをご協力お願いいたします。

記

- 1) 今後は、絶対にイッキ飲みシーンがある番組を提供しない
- 2) 制作者であるテレビ局に対し、スポンサーとして嚴重な注意を行なう

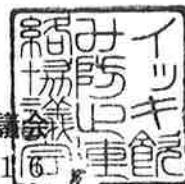
以上の2点をふまえ、番組提供スポンサーとしてどのようにお考え、また、どのように対処されるかをアルコール問題全国市民協会(〒103 中央区日本橋浜町3-19-3 ヲグ21ビル 2F)あてに3月25日までご回答ください。なお、ご回答の内容は公開させていただきます。

以 上

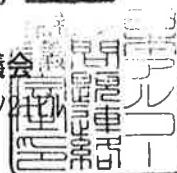
1996年3月13日

白鶴酒造株式会社
社長様

イッキ飲み防止連絡協議会
東大阪市宝持4-2-1



日本アルコール問題連絡協議会
中央区日本橋浜町3-19-3



アルコール問題全国市民協会
アディクション問題を考える会
日本キリスト教婦人矯風会
日本アルコール医学会
日本アルコール関連問題リサーチワーカ協会
飲酒運転に反対する市民の会
イッキ飲み防止連絡協議会
全日本断酒連盟
救世軍日本本営
国際グッドテンプレーズ
日本禁酒禁煙協会
日本禁酒同盟
アンスワール相互保険会社

主婦連合会
千代田区6番町15

はみ出し自販機対策協議会
千代田区四番町8 東郷パークビル
青葉総合法律事務所内



スポンサー番組中のイッキ飲みシーンに関する申し入れ および公開質問状

貴社におかれては、酒類メーカーとしての社会的責任に日頃より関心を払っておられることと存じます。また、貴社は日本酒造組合中央会を通してイッキ飲み防止連絡協議会の「イッキ飲み防止ポスター・キャンペーン」に協賛して下さっていることから、イッキ飲みの危険性については既に充分ご承知のことと理解しておりました。

ところが、年始に貴社が提供した番組でフジテレビ放映の「96お正月だよ！美人女子アナ大宴会」（1996年1月3日）の中で、イッキ飲みをさせていました。ガダルカナル・

タカの司会で宴会が始まり、石川テレビのアナウンサーが司会の掛け声とともにイッキ飲みを繰り返す、ろれつが回らなくなって周りに絡み始めるという内容でした。番組制作担当者には番組放送直後口頭で、また、フジテレビには文書にて抗議を申し入れました。

昨年、アルコール問題全国市民協会が行なった「アルコール関連問題の予防に関するアンケート」では、質問4の提供番組の中のイッキ飲みについて貴社の回答は“提供番組の内容については事前にチェックし、イッキ飲みを煽る危険があればスポンサーとしての番組提供を断る。”というものでした。今回の番組は、この貴社の回答に相反するもので、非常に残念です。今後、このようなことが再び有りませんように貴社の努力に期待するもので、今回の申し入れになりました。

つきましては、次のように強く申し入れます。

記

- 1) 今後は絶対にイッキ飲みシーンがある番組を提供しないこと
- 2) 製作者であるフジテレビに対し、スポンサーとして嚴重な注意を行なうこと
- 3) この番組による社会への悪影響を除去するために、なんらかの形でイッキ飲みの危険性を啓発する番組を制作し提供すること

以上3点をふまえ、番組提供スポンサーである酒類メーカーとして、どのようにお考えか、またどのように対処されるかを、アルコール問題全国市民協会（〒103 中央区日本橋浜町3-19-3 ヲグ/21ビル 2F）あてに3月25日までに書面でご回答ください。

なお、ご回答の内容は公開させていただきます。

以 上